

る・く・る自然観察会

Nature observation meeting in RU・KU・RU

静岡科学館る・く・る

Shizuoka Science Museum Ru Ku Ru

Goal 4,15

静岡科学館では屋外での活動として、時節に合わせた観察会を開催しており、静岡県自然観察指導員会中部支部の先生方と連携し、参加者に身近な自然の多様さを教えています。講師が少人数に一人ずつ随伴しながら、会話による相互コミュニケーションを行うことで、より自然に対する興味、関心が深まるよう工夫しています。

5月には水生生物の観察会を行い、実際に川の中に入り、様々な生き物を採集することで、指標生物を利用した水質調査を行いました。ウチワヤンマのヤゴをはじめとした数多くの水生生物が身近な河川で採集できたことに、驚きの声を上げる子供たちも多く見られました。8月になるとセミの時期ということもあり、セミの羽化を実際に野外で観察する会を行い、2日間の日程のどちらの観察会でも、アブラゼミの羽化の瞬間、地面を移動している様子を観察することができました。羽化したての透き通ったセミ、白と緑が合わさった神秘的な姿を見て、「キレイ」「宝物みたい」と言う子供たちの純粋な感動の言葉を聞くことができました。9月には秋の鳴く虫の観察会を行いました。唱歌で名前は知っていても、実際に鳴き声や姿を知らない人も多く、実際に姿を見て驚く様子も見受けられました。また、今まで気づかなかった音に耳を傾けることで、多くの鳴く虫がいたことに改めて驚かされていたようです。

自然観察会を行うことで、身近な自然の豊かさを知る機会を提供することができ、その保全や利用・調和などを世代間で考え、情報を共有し、質の高い教育をするための礎となってくれたのではないかと考えます。



8月 セミの羽化観察会



5月 水辺の生物観察会